

まちづくり市民会議 第2小委員会議事録③

■日 時 2007年11月13日(火) 午後6時30分～午後8時40分

■場 所 太田市役所 10階 政策推進会議室

■出席者 委員8名 西村委員長、森尻副委員長、神谷、後藤、福島
市2名 奥川、正田
※欠席委員 荒井、内田、栗原

【概要】

1. 会議の目的

- ・「環境」のテーマを中心に議論する。
- ・各委員がまちづくりに対する考え方を共有・相互理解し、参加意識の集約を図る。

2. 会議の内容

(1) 資料説明

- ・事務局が『サイクリングロードおもしろマップ』『食育事業について』『環境基本計画(概要版)』について説明した。
- ・西村委員長が『新田学校給食センター10月給食だより』について説明した。
- ・前回の会議で要望のあったウォーキングマップは、本市において現在作成していない旨を事務局が報告した。

(2) 意見効果

●サイクリングロードについて

- ・狭小な道路をコース設定しているため、サイクリングロードとして認定する道路規格を確認する必要がある。
- ・蛇川サイクリングロードは、メンテナンスが必要である。
- ・限られた資源を有効に活用し、身近な自然環境を自分たちの手で補修する作業も必要である。

●ウォーキングコースについて

- ・モデルコースを認定し、そのコースを掲載したマップを作成する必要がある。
- ・既存の駐車場やトイレを活用し、マップに明示することも考えられる。
- ・金山北側のハイキングコースは、整備を要する箇所が見受けられる。

●環境について

- ・環境問題をテーマにした講演会開催の提案があったが、単独で開催した場合、参加者が少数に留まる懸念がある。

- ・多数の参加者を確保するには、人を集める「仕掛け」と「仕組み」が必要である。
- ・スポレク祭や環境フェスティバルなど、集客力のある既存イベントに組み入れる方法も考えられる。
- ・環境基本計画に1人当たりの公園面積を増やす指標があるが、一定の経費がかかる事業であり、実施する際はよく検討する必要がある。
- ・金山を始めとする松くい虫の防除は、際立った効果が得られないため、松に固執せず強い木に変更していく時期にさしかかっている。
- ・ごみ袋の価格設定は、ごみの減量に有効である。
- ・ごみ袋の価格引上げは、受益者負担の原則に基づき、分別が促進され本来のごみは減る。ただし低所得者には負担となり、不法投棄なども懸念される。
- ・プラスチック製品の分別が導入されたが、ごみに対する経費を削減するため、今後においてもリサイクルを推進する必要がある。

●その他

- ・市の計画策定やイベント開催のお知らせなど様々な情報が行政から発信されているが、市民に認知されていない。
- ・情報を受け取る市民にも関心を持ってもらう投げかけが必要である。

3. 報告事項

●県土整備地域プランへの出席について（福島委員）

- ・福島委員より「第1回太田地区ワークショップ」へ出席した旨の報告がある。
- ・県が今後10年間の社会資本整備の計画として策定を進めているが、地域住民の代表として参加している。
- ・11月6日に第1回会議が開催され、今後4回の会議が予定されている。
- ・会議結果は随時報告していきたい。
- ・まちづくり市民会議の考えを県土整備プランに反映させたいので、ご協力いただきたい。

4. 今後の進め方

- ・次回からポイントを絞り、より詳細な議論を行う。
- ・事務局がサイクリングロードの道路規格を確認する。
- ・本日の議事録は全委員に送付する。

●次回会議のお知らせ

第4回 第2小委員会の開催

【日時】12月11日（火）午後6時30分～

【場所】市役所10階 政策推進会議室